

概要版

第2期一宮市国民健康保険データヘルス計画

(含 第3期一宮市特定健康診査等実施計画)

～最終評価～

第2期データヘルス計画は、被保険者の健康寿命の延伸と医療費の適正化を実現するために、効率的かつ効果的な保健事業を展開することを目的とし、平成30年度から令和5年度までの6年間の計画期間として平成30年3月に策定しました。

第2期データヘルス計画の最終年度である令和5年度に令和4年度までの事業評価を行いました。

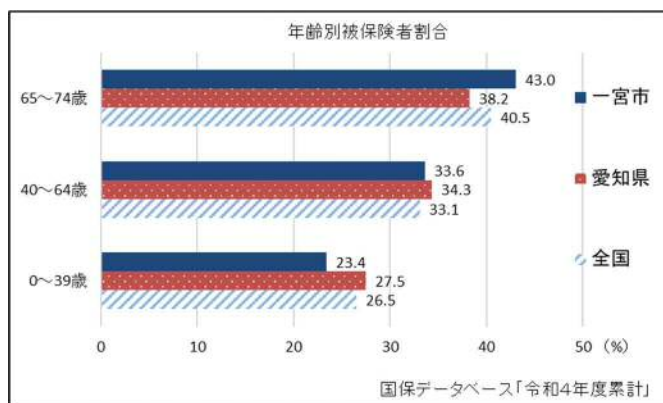
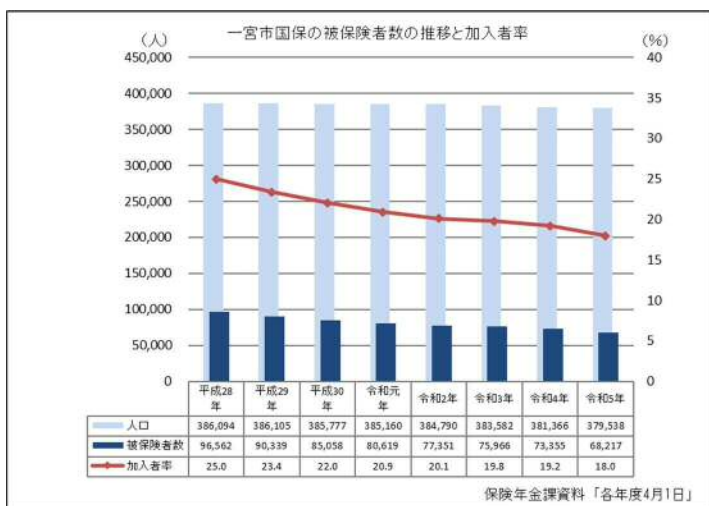
令和6年3月

一宮市

一宮市国民健康保険の現状

1 被保険者数と年齢構成

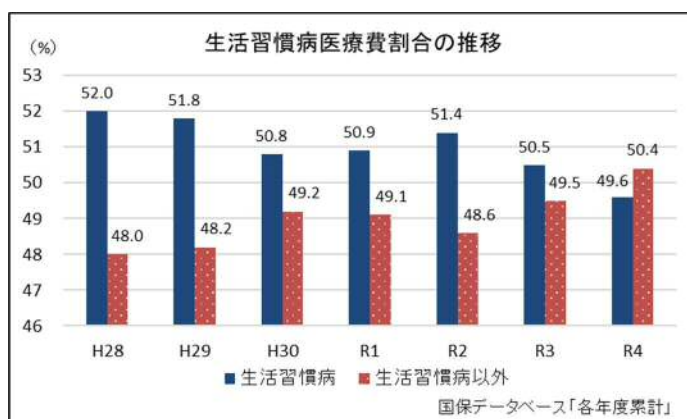
一宮市国保の被保険者数は、減少が続いており、市の人口の20%を割り込んでいます。年齢別の構成割合では、65歳から74歳までの前期高齢者の割合が高くなっています。



2 医療費の状況

一宮市国保の医療費は、被保険者数の減少に伴い減少傾向にあります。1人あたり医療費は増加傾向で、愛知県と比較しても高くなっています。

総医療費に占める生活習慣病医療費の割合は減少しており、令和4年度に生活習慣病以外の疾病の医療費を下回っています。

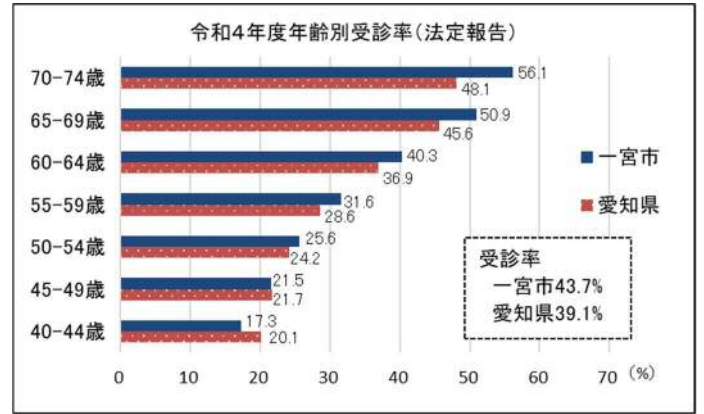
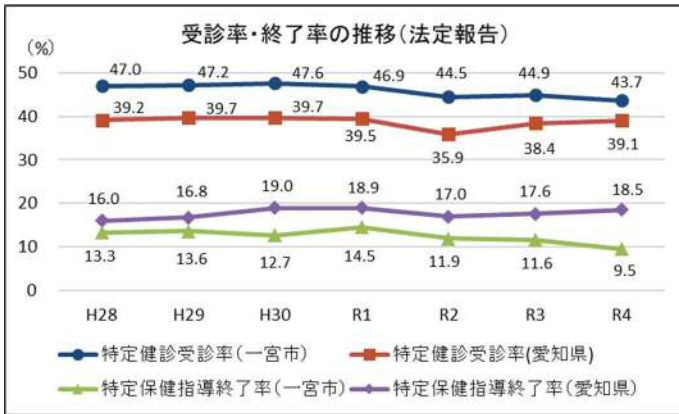


※国保データベースシステムで生活習慣病と定義するものは、糖尿病、高血圧症、脂質異常症、高尿酸血症、脂肪肝、動脈硬化症、脳出血、脳梗塞、狭心症、心筋梗塞、がん、筋・骨格、精神

3 特定健康診査の状況

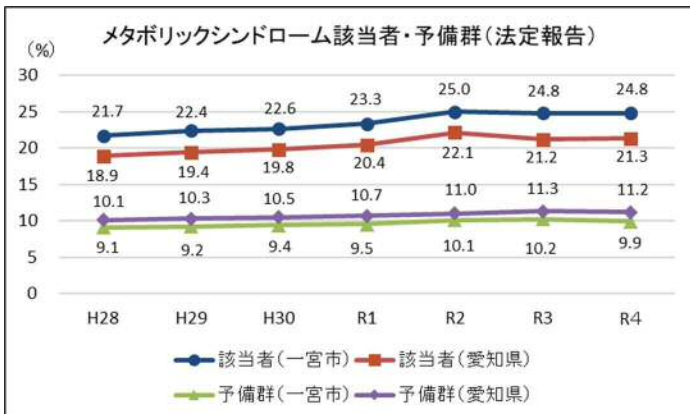
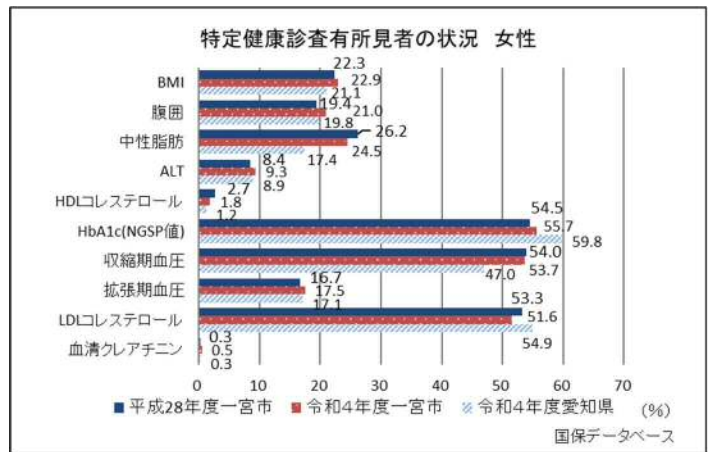
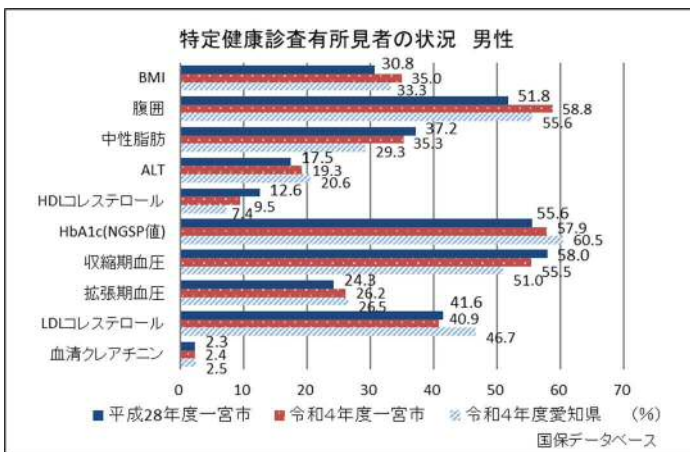
特定健康診査受診率は横ばいで推移しています。愛知県と比較すると高くなっています。年齢別受診率では、40代50代の受診率が低く、年齢が高くなるほど受診率は高くなり、愛知県との差は大きくなっています。

また、特定保健指導の終了率も横ばいで推移しており、愛知県と比較すると低くなっています。



特定健康診査の結果から、愛知県と比較して、基準を超える方の割合が特に高いのは、中性脂肪、収縮期血圧です。また、血糖の指標であるHbA1cは、50%以上の方が有所見者となっています。

メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合は上昇しており、メタボリックシンドローム該当者の割合は、愛知県と比較すると高くなっています。



※有所見とは、健診結果で基準範囲を外れていることをいい、服薬者を含む

※メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪型肥満に加えて、高血糖・高血圧・脂質異常の追加リスクのうち、いずれか2つ以上を合わせ持った状態(追加リスク1つの場合は、予備群)

計画の目標（指標）及び評価

	指標	計画策定時	現状	評価	目標
		H28	R 4		R 5
計画全体	平均自立期間（健康寿命）	79.6歳 （男性） 83.8歳 （女性）	80.5歳 （男性） 84.4歳 （女性）	A	計画策定時から延伸
	生活習慣病医療費の割合	52.0%	49.6%	A	計画策定時から増加抑制
	メタボリックシンドローム 該当者及び予備群の割合	30.8%	34.7%	D	計画策定時から増加抑制

※平均自立期間とは、日常生活動作が自立している期間の平均。要介護2以上の認定者を日常生活に制限があるとしている。年齢は前年統計情報分

保健事業		指標	計画策定時	現状	目標値	評価	
			H28	R 4	R 5		
生活習慣病の発症及び重症化の予防	重点を置く事業	特定健康診査	受診率	47.0%	43.7%	60%	C
			過去3年以上連続未受診者	42.7%	45.4%	40%	D
			特定保健指導該当率	11.1%	10.7%	10.6%	B
	特定保健指導	終了率	13.3%	9.5%	60%	D	
		特定保健指導利用による改善率	23.0%	21.3%	29%	D	
	糖尿病重症化予防 （糖尿病性腎症重症化予防）	医療機関への受診率	47.8%	65.0%	50%	A	
		検査値の改善率 (H29)	51.9%	57.5%	60%	B	
	25歳～39歳の人間ドック （総合健康診査）	受診者数	200人	232人	350人	C	
		要治療者、要精検者率	52.0%	44.0%	50%	A	
	がん検診	受診率	27.8%	24.9%	45%	D	
		精密検査受診者の割合	83.2%	83.9%	90%	C	

保健事業		指標	計画 策定時	現状	目標値	評価
			H28	R 4	R 5	
生活習慣病の発症及び重症化の予防	健康体操教室	申込者数				E (中間評価D)
		これからも運動を続けると回答した人の割合				E (中間評価E)
	節目骨検診	受診者数	579人	377人	800人	D
		精密検査受診者の割合	43.0%	40.9%	60%	C
	節目歯周病検診	受診者数	2,117人	2,999人	3,500人	B
		40歳で歯周炎を有する人の割合	54.8%	46.0%	30%	B
	女性のための健康診査	受診者数				E (中間評価C)
		HbA1c 正常値の人の割合				E (中間評価A)
	集団健康教育	定員に対する参加率	83.4%	65.4%	90%	D
		健康意識の向上	93.9% (H29)	98.2%	95%	A
	個別健康教育	受講者数	22人	2人	30人	D
		禁煙成功者の割合	48.0%	50%	50%	A
	いちのみや健康マイレージ	まいか申請数	209枚	849枚	500枚	A
		保健事業利用者の増加	982人 (H29)	628人	720人	D
医療費適正化	重複・頻回受診者等 訪問指導	訪問指導実施者数	15人	11人	15人	D
		訪問した人のうち改善した人の割合	61.5% (H29)	36.4%	50%	D
	後発医薬品利用差額通知	切替者比率	14.0%	17.2%	20%	B
		後発医薬品比率	69.2%	83.6%	80%	A

※評価 A:目標達成または順調 B:概ね順調 C:変化なし D:悪化 E:評価困難

※健康体操教室、女性のための健康診査は廃止

※()は保健事業名の変更または目標値の設定

4 最終評価のまとめ

令和2年度からの新型コロナウイルス感染症の流行の影響を受け、各保健事業は事業内容の縮小や変更を行いながら継続しました。

計画全体の指標では「平均自立期間」「生活習慣病医療費の割合」は目標を達成することができましたが、一方「メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合」については悪化しました。

個別保健事業では、計画最終年度の目標を設定しており、14事業で29の指標を設定しています。

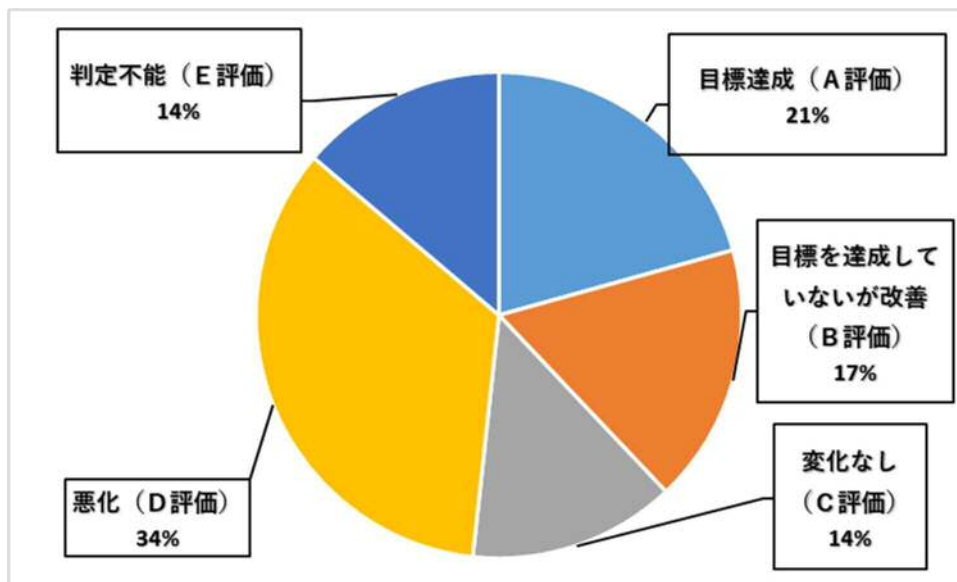
これらの指標について、計画策定時から令和4年度までの総合評価から、進捗が順調、または目標を達成しているもの（A評価）は6指標、概ね進捗が順調であるもの（B評価）は5指標、変化のないもの（C評価）は4指標でした。

一方、悪化しているもの（D評価）は10指標でした。なお事業が廃止となった4指標は（E評価）としました。

今後の課題としては、メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の割合が増加しており、医療費においても生活習慣病に起因する疾病が上位を占めているので、生活習慣病の予防のための保健事業に今後も力を入れる必要があります。また、1人当たりの医療費が増加しているため、医療費適正化にも努めていく必要があります。

年齢別にみると若い世代の健診の受診率が低いので、若い世代の健康意識を向上させる取り組みが必要となります。

各評価の構成割合



第2期一宮市国民健康保険データヘルス計画
(含 第3期一宮市特定健康診査等実施計画)
最終評価 概要版

令和6年3月

発行：一宮市 市民健康部 保険年金課
〒491-8501 一宮市本町2丁目5番6号
TEL 0586-28-8669
E-mail honen@city.ichinomiya.lg.jp